



日野都市計画神明上土地区画整理事業

日野市立図書館 ☎81-7354



1595035

しゅん功記念誌

東京都日野市

目 次

市長あいさつ	1
市のうつり変り	2
事業の背景と目的	4
事業の概要	6
開発前の地域のようす	8
諮問機関	10
新しい街が生れるまで	12
生れ変った街	14
完成した道路	16
完成した公園・緑地	22
新しい街の公共施設	24
新しい街	26
むすび	28

日野都市計画

神明上土地区画整理事業

施 行 者 日野市

地区面積 133.2ha

総事業費 76.7億円

施行期間 昭和41年10月1日～昭和57年6月30日

権利者数 1,791名

内訳 所有権者 1,743名

借地権者 48名



あいさつ



神明上土地区画整理事業は、昭和41年10月着手以来、社会経済状況の変化激しい時期に直面したため幾多の困難がありましたが、それらを見事克服してここに竣工のはこびとなりました。

これは、関係された権利者の深いご理解に併せて、建設省、東京都のご当局をはじめ、市議会、関係行政機関のご指導によるものと喜びにたえないところです。

さて、区域は整然として快適な都市環境に生まれ変わりました。日野駅周辺も市の表玄関にふさわしい姿が整い、事業地区の中央に当たる台地には市役所庁舎、中央公園、市立第七小学校、消防署等が既に建設されており、近く、市民会館も建設される予定で、名実ともに市のセンターとなる区域であります。また、街路の施設や、雨水・下水の排水など生活環境が整ったことは、市民生活に大きく貢献し、加えて、公園・緑地の配置

など人々の心に健康と文化の潤いをもたらすものと高く評価されるであります。

市は今後も土地区画整理方式による都市計画の事業化を遂行うべく準備を進めていますが、この事業は将来のためにも大きい業績を果たしたものと位置づけられるであります。

本日、ここに立派な市街地が誕生したことを市民と共に祝いし、かさねて関係各位に深く感謝申し上げる次第であります。

日野市長 森田喜美男

1505035

市のうつり変り

総面積 2,711ha
総人口 147,395人
(9月1日現在)

本市は、都心より西方約30km～35kmに位置し、日野駅を中心におおむね南北方向に国鉄中央線が、又高幡不動駅を中心に京王線が市の南部を東西に走り、又国道20号線が東西方向に延びる近年市街化の著しい市域であります。

昭和の初期までは農業就業者が8割近くまでを占めるという典型的な農業地帯でした。しかしながら、中央線の電化、大規模な工場の進出等により工業都市へと姿を変えることとなりました。

戦後、日本の経済復興にともなって東京への人口集中が高まり、交通の利便性ともあいまって、昭和30年代から本市への人口流入が進み、急速に市街化が進むこととなりました。

昭和38年に市制を敷くことになり、この頃から本市において土地区画整理事業が施行されるようになりました。

まず日本住宅公団（現日本住宅都市整備公団）によ



旧日野市役所庁舎

り昭和32年3月から豊田地区が事業化され、次いで日野市による平山台地区が昭和38年9月から事業に着手されました。

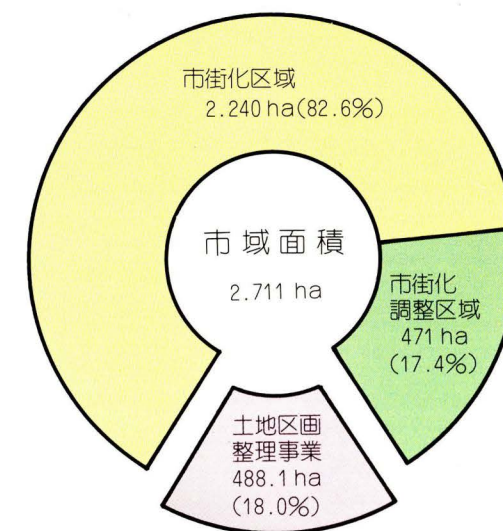
当神明上地区については、昭和41年10月1日に事業化され今日の新しい街として生まれ変わりました。

本市としては、既成市街地の秩序ある発展及び防災、土地利用の高度化に対応するための環境整備を、また市域周辺地域の開発整備など、総合的な都市基盤の整備を行って来ました。

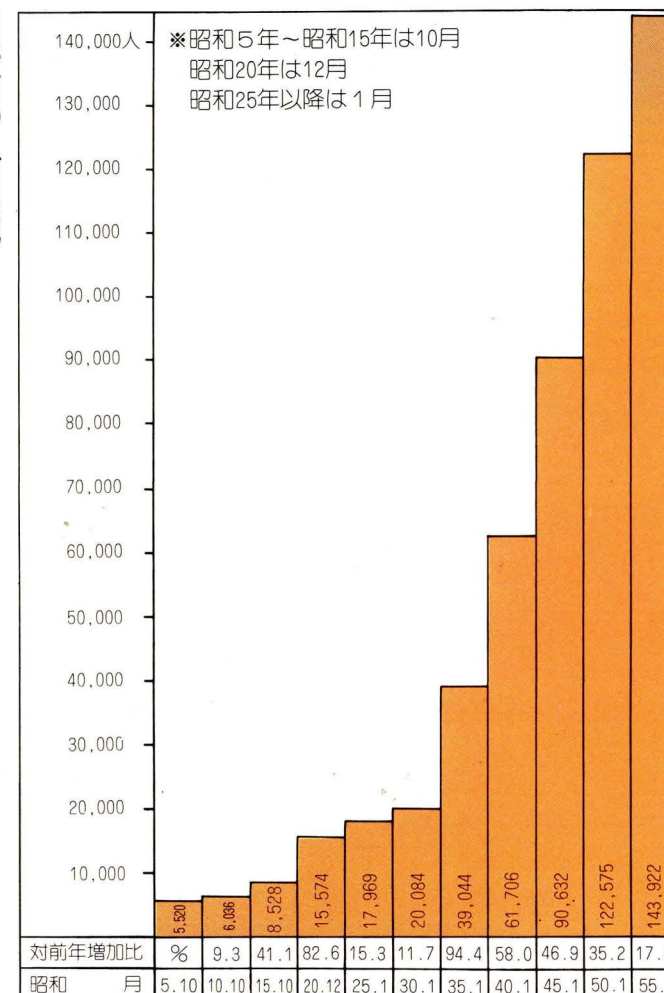
本市における土地区画整理事業の実績は、組合施行も含めて7地区488.1haが既に完了し、現在3地区143.8haを施行しており、市街化区域2,240haの約28%が土地区画整理事業により整然とした街に生れ変わるようになります。

今後も、自然との調和のとれた健全な都市の建設に土地区画整理事業は大きな効果をもたらすでしょう。

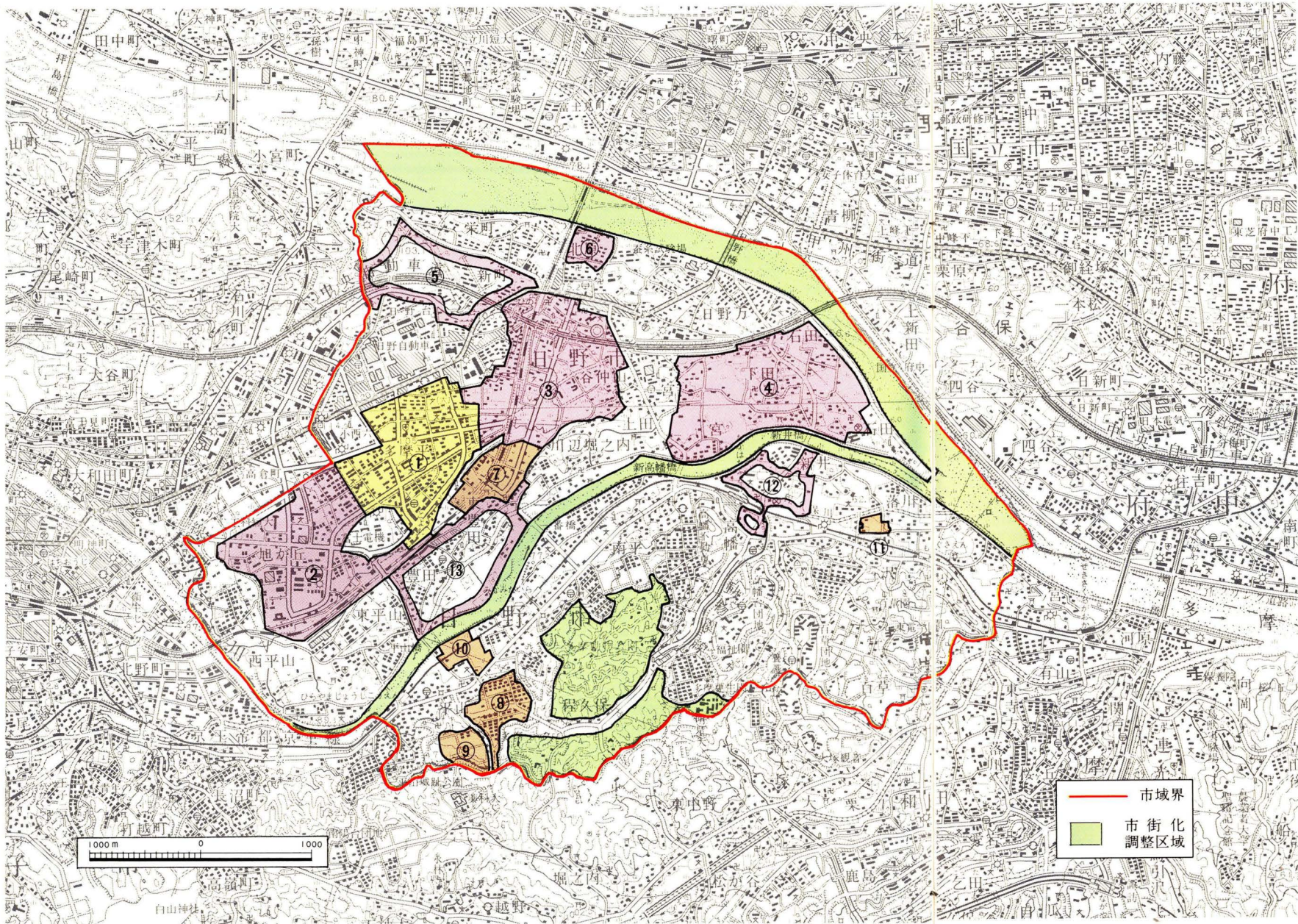
市街化区域内の開発状況



日野市の人口推移



事業の背景と目的



近年、我が国では経済成長が進むにつれ、人口の都市集中が高まり、大都市周辺は急速に市街化しつつあります。東京都においても人口、産業の集中は激しいものがありました。

これに対処するため、都内に集中する人口、産業を抑制するとともに、首都の周辺区域に衛星都市を建設し積極的に分散、誘導を図るという、首都圏構想が樹立され、これを推進するために昭和31年6月「首都圏整備法」が制定施行されました。これに基づいてたてられた「首都圏整備計画」で

は首都圏を都心から郊外に向けて「既成市街地」、「近郊地帯（グリーンベルト）」、「周辺地域」に分け、近郊地帯外側の周辺地域に衛星都市を建設し、首都圏に流入する人口と産業をここに吸収しようとするものでした。

この「周辺地域」の開発は、周辺部一帯の中小都市を開発整備して産業と住居を近接した都市としての機能を持った都市構造（衛星都市）とすることを主眼としたもので、この区域を市街地開発区域として指定しました。（この指定は、その後首

都圏整備計画の変更によって区域の指定替えがされ、現在では近郊整備地帯として開発されることになった。）

このため東京都では、「日野、八王子、町田、青梅、羽村、福生」が指定を受けることになり、整備計画に基づく市街地開発区域として開発整備が本格的に着手されることになりました。

日野市においては、昭和35年に浅川北側のほとんどの地域について、土地区画整理事業による都市基盤整備計画を決定し、そして急激に市街化が

日野市土地区画整理事業一覧

地区番号	地区名	面積(ha)	施行者	都市計画決定	事業認可	換地処分
①	豊田	132.9	日本住宅都市整備公団	31. 4.13	32. 3.13	40. 4.27
②	平山台	128.1	日野市	35. 6.13	38. 9.19	48. 7.14
③	神明上	133.2	〃	39.10.23	41.10. 1	57. 6.30
④	万願寺	126.9 (256.5)	〃	40. 6. 7	51. 1. 8	施行中
⑤	新坂下	77.0	〃	40. 6. 7		
⑥	四ッ谷下	15.0	〃	40.11.11	41.10. 1	49. 1.30
⑦	吹上団地	27.6	組合	—	39. 6.20	47. 6.30
⑧	平山七生台(第1)	29.5	個人	—	44. 8.29	48. 1.27
⑨	平山七生台(第2)	21.8	個人	—	44. 8.29	49. 6.29
⑩	日野市平山下耕地	12.6	組合	—	55. 7.29	施行中
⑪	日野市田	4.3	〃	—	56. 2.18	施行中
⑫	高幡	40.0				調査中
⑬	豊田南	89.0				調査中
合 計		837.9				

() は都市計画決定面積

進行しスプロール化が予想される街を計画的に都市基盤の整備を図ることを目的として、東京都と6市町で「財団法人東京都新都市建設公社」を設立して体制を整えました。

神明上地区については、昭和41年に事業認可を受け、国鉄日野駅を中心に住宅用地及び商業用地の開発を行うとともに、既設住宅地の整備を行ったもので、本事業の完成により本市の北の玄関口として、今後の市の発展に大いに寄与するものと考えられます。

事業の概要

この事業は、日野市が施行者となり施行されました。

地区面積は 133.2 ヘクタールで、昭和37年から事業の準備が始められ、今日の完成まで準備期間を加えると20年を要しました。

事業費は当初14億円を予定していましたが、物価上昇等により最終的には、76億7千万円になりました。

事業は、日野駅前周辺の商業地と住居地の区画の形質を変更して土地利用の増進を図ることと、道路、公園などの公共施設を整備することを中心

に進められました。

この地区は、大部分が畑地で地区東部には水田も見られ、認可時にはわずか8%程度の公共用地しかありませんでしたが、土地区画整理の結果、公園緑地を含めて28%余りの公共施設が新設改良され、宅地の利用増進が格段に高められました。

道路については、他市町との交通を結ぶ幹線街路を 4,701 m、地区内生活機能の円滑化を図る区画街路を26,522m整備しました。これらの道路は排水施設が設けられるとともにアスコン舗装が施され、また幹線街路には街路樹を植えてより良

い住生活環境を得られるようにしました。

公園については、この地区の中央的な公園（近隣公園）として日野中央公園（約2ヘクタール）を始め、児童の日常の遊び場として児童公園（約1,300㎡～2,100㎡）を誘致距離を考えて3箇所、計4箇所（25,389㎡）の公園を新設しました。また当地区の台地と平坦地間の傾斜地を利用した緑地を49,967㎡設けて、近年失われ行く緑を確実に残すことで緑豊かな街づくりに努力しました。

当地区は、道路などの公共施設ができあがってくるにしたがって、一般住宅の建設が盛んになり、

また日野駅周辺は駅前の整備が進むにつれて商店も新装され商店街を形づくるようになり、活気にあふれる街並みになりました。

一方、市ではこの地区を市政の中心にとらえ、地区内に市役所を新設しました。また人口の増加により、地区内に小学校を一新設しました。

この地区は、今後市の中心として緑にあふれた良好な住宅地として発展することが期待されます。

整備内容

施行面積	133.2ha
事業認可	昭和41年10月1日
換地処分	昭和57年6月30日
権利者数	1,791名
	(内訳) 所有権者 1,743名
	借地権者 48名

事業費 (収入)	区 分	金 額(千円)
	国 庫 補 助 金	646,000
	東 京 都 補 助 金	1,422,538
	日 野 市 負 担 金	2,726,526
	保 留 地 処 分 金	2,405,862
	国 鉄 負 担 金	72,702
	公共施設管理者負担金	396,372
	合 計	7,670,000

(支出)	区 分	金 額(千円)
	工 事 費	3,626,546
	補 償 費	1,475,314
	調査設計・事務費	1,492,761
	利 子	833,234
	分 担 金	140,085
	文化財調査費	102,060
	合 計	7,670,000

土地の種目別施行前後

種 目			施 行	
			地 積 (㎡)	筆 数
公 共 用 地	国 有 地	道 路	62,426.91	
		水 路	10,479.48	
		小 計	72,906.39	
	準国有地	中央高速道路	35,101.43	
		小 計	35,101.43	
	地 方 公 共 団 体 所 有 地	道 路	12,601.65	
		公 園		
		水 路		
		小 計	12,601.65	
	計		120,609.47	
宅 地	民 有 地	畑	580,996.65	1,425
		田	60,669.54	247
		宅 地	185,133.35	941
		山 林	107,048.12	197
		原 野	2,264.30	16
		墓 地	5,999.00	14
		公衆用道路	2,225.92	25
		境 内 地	10,313.00	7
		雑 種 地	9,445.21	59
		学 校 敷 地	43,527.00	31
		小 計	1,007,622.09	2,962
	国 有 地	国 有 地	7,168.00	19
		準 国 有 地	69,934.41	267
		地方公共団体所有地	69,442.54	111
		計	1,154,167.04	3,359
	保 留 地			
	測 量 増		57,585.86	
	合 計		1,332,362.37	3,359

対照表

前	施 行 後	
	割 合(%)	地 積 (㎡)
4.68		33,615.41
0.79		
5.47		33,615.41
2.63		37,231.40
2.63		37,231.40
0.95		221,848.52
		75,356.48
		5,369.67
0.95		302,574.67
9.05		373,421.48
43.61	925,154.73	69.44
4.55		
13.90		
8.03		
0.17		
0.45		
0.17		
0.77		
0.71		
3.27		
75.63		
0.54		
5.25		
5.21		
86.63		925,154.73
		33,786.16
4.32		
100.00		1,332,362.37

完成した公共施設

種 別	名 称 番 号	形 状 寸 法		
		幅 員(㎡)	延 長(㎡)	面 積(㎡)
街 路	1 ・ 3 ・ 2	22	1,079.06	27,480.94
	2 ・ 2 ・ 1	15~20の一部	782.77	7,134.41
	2 ・ 2 ・ 3	16	1,243.02	23,305.22
	2・2・4(駅広を含む)	16	420.96	10,652.55
	2 ・ 3 ・ 3	12	1,098.28	15,288.11
	2 ・ 3 ・ 4	12	77.76	1,133.68
	小 計		4,701.85	84,994.91
	区 画 街 路	20	483.15	9,705.37
	〃	12	400.73	4,918.34
	〃	8	2,963.97	25,506.40
公 園 ・ 緑 地	〃	6	17,775.84	111,564.28
	〃	4	4,898.81	19,653.68
	小 計		26,522.50	171,348.07
	日 野 中 央 公 園			20,373.15
	大 久 保 公 園			2,172.52
	大 坂 西 公 園			1,526.37
	矢 の 山 公 園			1,317.27
水 路	日 野 緑 地			49,967.17
	小 計			75,356.48
	水 路	2~3.5	2,042.55	5,369.67
	小 計		2,042.55	5,369.67
合 計				337,069.13

開発前の地域のようす

この地区は、日野市のほぼ中央の位置にあり、北側は国道20号線(甲州街道)、南側は吹上団地区画整理事業区域、西側は豊田土地区画整理事業区域(多摩平団地)にはさまれた一段下を含む台地で東西約1,000m、南北約1,500mにわたる面積133.2ヘクタール(約41万坪)の区域です。

この地区は国鉄中央線によりほぼ東西に分割されており、おおまかには段下は商業と住宅、段上は畑という土地利用で、段上には桑畑がいたる所に見られました。

商業は主に日野駅を中心に国道20号線沿いにあり、住宅は段下及び旧甲州街道沿いにひらけ、段上には部分的に塊状に点在していました。

主な施設としては、地区東北部の川崎街道沿いに日野市役所、消防署、日野第一小学校があり、国道20号線沿いに八坂神社、旧甲州街道沿いに宝泉寺、第一小学校西側に大昌寺が、また地区北西部に浄水場、地区西部中央に実践女子大学がありました。

地区内の道路は地区西北部を国道20号線とほぼ平行に走る旧甲州街道の他は、農道を中心としたものしかありませんでした。

交通機関は、国鉄日野駅及び国道20号線を通るバスを利用していました。



土地区画整理審議会委員
評 価 員

事業を民主的に進めるため、関係権利者の意見反映の機関として法律の定めにより土地区画整理審議会が設けられました。審議会は、権利者の利益保護と事業の公正円滑な運営のための諮問機関で、委員の数は施行規程に定められていますが、この地区では、権利者の中から選挙された委員12名と市長が選任する学識経験者3名、合せて15名で構成されました。昭和42年3月発足以来数々の

審議会、協議会が開催され多くの案件が審議されました。

評価員は、土地の評価などを公正に行うため、学識経験者からなる5名の方々が就任され数多くの答申をお願いいたしました。

この事業が今日の完成を見たのもこれら委員の方々のご尽力のたまものと申せましょう。

○ 審議会委員

奥 住 清	昭42.2.14～昭57.5.8	前会長 安 西 信	昭42.3.14～昭45.2.12
岩 沢 哲 夫	昭42.2.14～昭57.5.8	中 村 喜代治	昭42.2.14～昭57.5.8
伊 藤 初 雄	昭42.3.14～昭57.5.8	実践女子学園	昭42.2.14～昭47.2.13
高 木 茂	昭42.2.14～昭52.4.16	浜 田 勲	昭45.3.15～昭52.8.1
谷 長 一	昭42.2.14～昭57.5.8	日 野 竹 男	昭47.4.17～昭52.4.16
河 野 正 夫	昭42.2.14～昭57.5.8	中 村 清 治	昭47.4.17～昭57.5.8
大 野 勇 二	昭42.2.14～昭47.2.13	石 津 勇	昭47.4.17～昭52.4.16
会長 清 水 芳 雄	昭42.3.14～昭57.5.8	馬 場 元 衛	昭52.5.9～昭56.7.12
三 浦 永 訓	昭42.2.14～昭52.4.16	田 中 広 吉	昭52.5.9～昭57.5.8
一ノ瀬 喜代治	昭42.2.14～昭57.5.8	河 本 徳 次	昭52.5.9～昭57.5.8
清 板 亮 一	昭42.2.14～昭46.10.7	小 島 安 蔵	昭52.5.9～昭57.5.8
会長代理 伊 藤 松 男	昭42.2.14～昭57.5.8	猪 鼻 要 次	昭52.5.9～昭56.11.14

○ 評価員

大 貫 武	昭42.6.27～昭57.9.30
金 子 新太郎	昭42.6.27～昭57.9.30
草 刈 就 利	昭42.6.27～昭48.4.30
板 橋 赧	昭42.6.27～昭55.5.31
森久保 三 次	昭42.6.27～昭57.9.30
小 西 一 郎	昭50.4.9～昭57.9.30
高 橋 春 吉	昭55.9.1～昭57.9.30

審議会開催風景



新しい街が生れるまで

この事業は、昭和37年頃から話しがもちあがり、翌年の昭和38年に測量・調査が行われました。
昭和39年10月23日に施行範囲を決め（施行区域の決定）、さらに昭和41年10月1日に事業認可を受け、事業が実際に開始されました。この事業が今日の完成を見るまでに、準備期間を含めて20年、事業認可から実質作業で16年を要しました。
事業は、効率を考えて用地を借上げて先行的に道路工事を進めました。

昭和45年12月に第1次の仮換地が指定され、続いて移転が始まり、移転により土地の空いた部分の道路工事等が順次進められました。
なお、換地処分公告が昭和57年6月30日に東京都知事により行われた結果、清算金事務等が残されていますが、長期にわたったこの事業も、権利者のご理解とご協力により、ここに収束にこぎつけることになりました。

昭和年月日	事	項
35. 5.	市街地開発区域の指定	
36. 7. 20	市は設立団体の一員として(財)東京都新都市建設公社を設立	
37.	神明上地区の区画整理事業の話しがもちあがる	
38. 3. 4 7. 24	現形測量を実施	
39. 8. 10 12. 7	権利調査を実施	
10. 23	施行区域の決定、公園の都市計画決定	
40. 3. 31	施行規程の公布	
11. 1	街区確定測量	
41. 3. 31		
6. 26	事業計画の縦覧	
10. 1	事業計画の認可	
12. 13	登記所へ施行区域を届出	
42. 1. 29	第1回審議会委員選挙日	
2. 14	審議会委員（権利者選出）選任	
3. 14	〃（学識経験者） 〃	
6. 27	評価員選任	
12. 27	評価基準、換地基準の施行	
45. 5. 13	仮換地の仮決定	
5. 20 6. 2	仮換地案を供覧	
9. 8 12. 7	画地確定測量	
12. 25	第1次仮換地を指定（9.9ヘクタール）	

昭和年月日	事	項
46. 1. 25	第2次仮換地を指定（0.3ヘクタール）	
2. 13	第3次	〃（9.5 〃）
4. 15	第4次	〃（12.5 〃）
7. 27	第5次	〃（0.14 〃）
10. 8	第1回事業計画の変更（設計、資金、施行年度の変更）	
10. 20	第6次仮換地指定（27.6ヘクタール）	
11. 9	都市計画道路の決定（2・2・1号線）	
11. 11	第7次仮換地指定（20.2ヘクタール）	
11. 26	都市計画道路の決定（2・3・3号線）	
47. 3. 8	第8次仮換地指定（0.3ヘクタール）	
3. 15	第9次	〃（8.5 〃）
4. 11	第10次	〃（0.03 〃）
4. 17	第2回審議会委員選挙	
4. 25	第11次仮換地指定（2.5ヘクタール）	
48. 6. 12	第2回事業計画の変更（設計、資金、施行年度の変更）	
49. 2. 8	第3回	〃（資金の変更）
50. 3. 19	第4回	〃（資金、施行年度の変更）
8. 15	国費新規採択要求（国費の導入、昭和51年度採択）	
51. 7. 13	都市計画道路の決定（2・3・4号線）	
11. 24	第5回事業計画の変更（設計、資金、施行年度の変更）	
52. 1. 13	第12次仮換地指定（0.73ヘクタール）	
5. 8	第3回審議会委員選挙	
8. 3	実施計画、建設省承認	
54. 4. 5	第13次仮換地指定（0.02ヘクタール）	
4. 18	第6回事業計画の変更（設計、資金、施行年度の変更）	
56. 6. 30	実施計画変更、建設省承認	
9. 26	第7回事業計画の変更（資金、施行年度の変更）	
57. 1. 29	第8回	〃（公共用地の確定）
2. 4 2. 17	換地計画の縦覧	
5. 10	換地計画の認可	
6. 30	換地処分の公告	
7. 1	町名地番の変更	

[illegible][illegible][illegible][illegible]

生まれ変わった街

日野緑地

大坂上中学校

日野台高等学校

実咲女子大学

日野中央公園

日野消防署

日野市役所

日野郵便局

大久保公園

大坂西公園

天の山公園

日野第一小学校

日野第七小学校

日野自動車工業

多摩平団地

国鉄中央線

中央高速道路

国道20号

生まれ変わった街

日野緑地

大坂上中学校

日野台高等学校

実咲女子大学

日野中央公園

日野消防署

日野市役所

日野郵便局

大久保公園

大坂西公園

天の山公園

日野第一小学校

日野第七小学校

日野自動車工業

多摩平団地

国鉄中央線

中央高速道路

国道20号

生まれ変わった街

日野緑地

大坂上中学校

日野台高等学校

実咲女子大学

日野中央公園

日野消防署

日野市役所

日野郵便局

大久保公園

大坂西公園

天の山公園

日野第一小学校

日野第七小学校

日野自動車工業

多摩平団地

国鉄中央線

中央高速道路

国道20号

生まれ変わった街

日野緑地

大坂上中学校

日野台高等学校

実咲女子大学

日野中央公園

日野消防署

日野市役所

日野郵便局

大久保公園

大坂西公園

天の山公園

日野第一小学校

日野第七小学校

日野自動車工業

多摩平団地

国鉄中央線

中央高速道路

国道20号

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

An aerial photograph of Hino City, Japan, showing a dense urban landscape. A red outline delineates the city's boundary. Key features include the Arakawa River flowing through the center, the Chuo Expressway running horizontally across the middle, and the Keihin-Toei Line railway running vertically. Various landmarks are labeled in Japanese, such as Hino Station, Hino Green Land (日野緑地), Hino Central Park (日野中央公園), and several schools like Hino Daiichi Elementary School (日野第一小学校) and Hino Tai High School (日野台高等学校). The surrounding areas show a mix of residential buildings, industrial zones, and agricultural fields. The title "生まれ変わった街" (The Town That Was Reborn) is written in blue at the top left.

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

完成した道路 その1

国鉄中央線日野駅前広場



都市計画街路2・2・4号線と中央線の立体交差



都市計画街路1・3・2号線



都市計画街路2・2・1号線



都市計画街路2・2・3号線



都市計画街路2・3・4号線



中央線日野駅俯瞰風景

都市計画街路2・3・3号線



区画街路20m



区画街路12m



区画街路8m



谷頭橋



神明橋



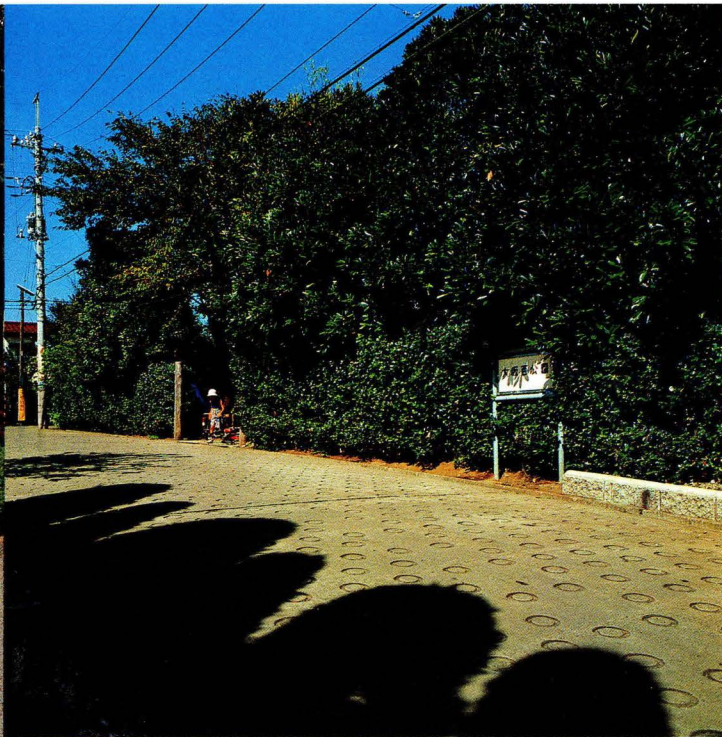
日野中央公園



矢の山公園



大阪西公園



日野緑地

大久保公園



日野緑地

日野緑地



新しい街の公共施設

日野市役所



日野消防署



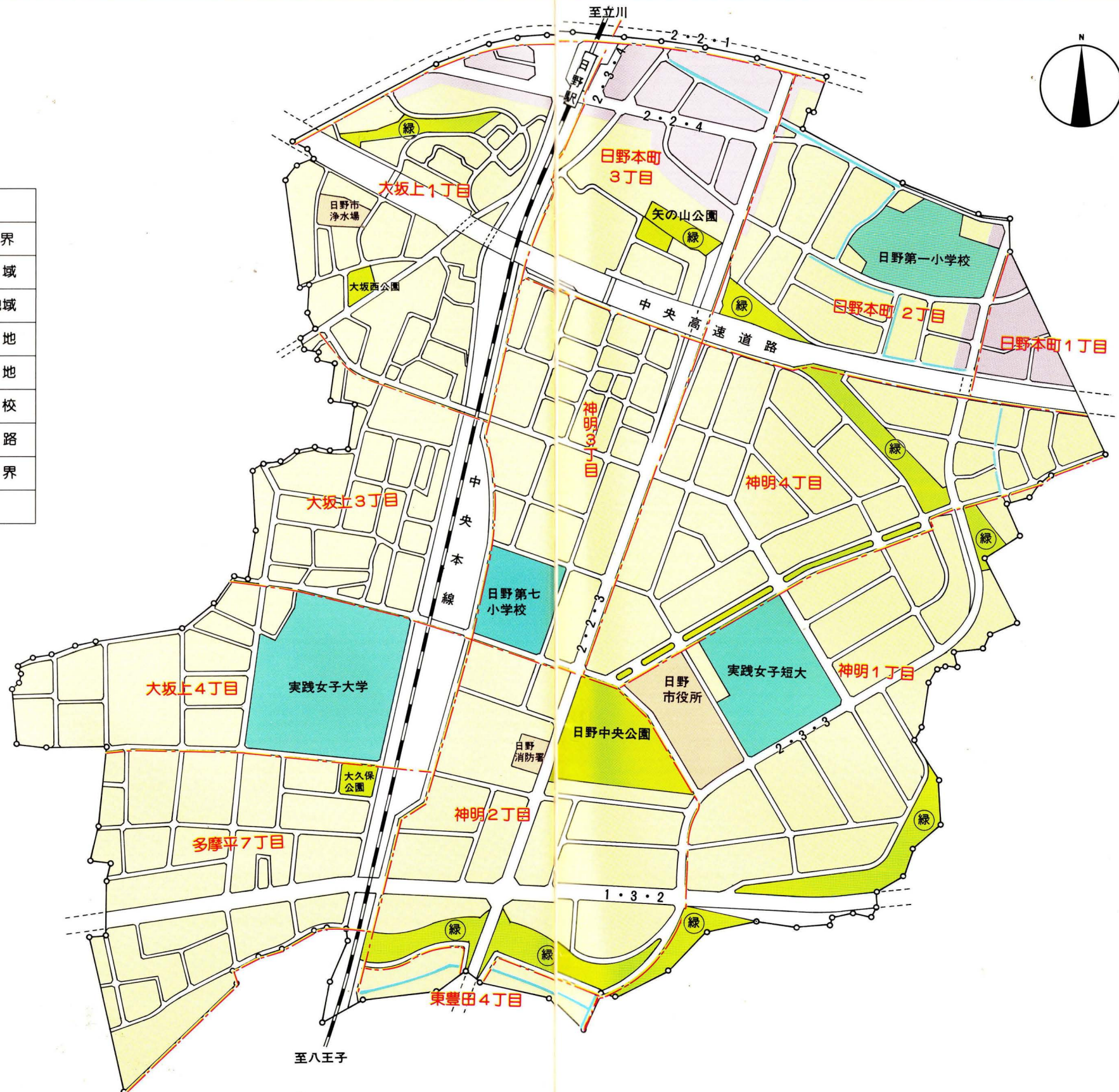
日野第一小学校



日野第七小学校



凡 例	
—○—	施行区域界
■	住居専用地域
■	近隣商業・商業地域
■	公 共 用 地
■(緑)	公 園・緑 地
■	学 校
—	水 路
- - -	町 丁 界





むすび

みんなの力で街は生れ変った。道がつくられみんなが集う広場もできた。緑も数多く残こされ、水も清らかに流れるだろう。

みんなの力で街が生れ変ったことは、いつまでも人の心に残り、子供達にも語りつがれるであろう。

整った街並と豊かな緑が人々の心の潤いとなり、この街は活気に満ちるだろう。

神明上土地区画整理事業
竣工記念誌

発行 昭和57年10月
神明上土地区画整理事業
施行者 日野市
企画 日野市都市整備部
区画整理課
日野市神明上1-12-1
編集 東京都新都市建設公社
八王子市高倉町49-3

